

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当講師
専門分野Ⅱ 母性看護学	母性臨床看護論Ⅱ	産褥期の看護	1	10/30	2年次後期	助産師

テキスト(発行所)	系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院)
テキスト以外の教材、参考図書	参考資料を適宜配布

学習の ねらい	褥婦の身体的変化、褥婦及び家族の心理的・社会的変化について理解し、産褥経過や健康状態のアセスメントを行い、正常な産褥経過や新しい家族関係の再構成に向けた看護の実際について学ぶ。
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>産褥期の生理的な身体的・心理的・社会的変化について理解する。</li> <li>退行性変化・進行性変化の観察ポイントと観察方法について理解する。</li> <li>退行性変化・進行性変化の阻害因子について理解する。</li> <li>進行変化・退行性変化における異常について理解する。</li> <li>褥婦の身体機能の回復及び進行性変化への看護を理解する。</li> <li>育児技術を獲得し、児との関係確立への看護について理解する。</li> <li>新しい家族関係再構築に向けた看護について理解する。</li> <li>産褥経過に異常のある褥婦の看護について理解する。</li> </ol>

#### 学習スケジュール

回数	主 題	履修形態 他
1回	<ol style="list-style-type: none"> <li>産褥の定義</li> <li>褥婦と家族への看護目標</li> <li>産褥期の観察の視点</li> <li>産褥期の生理的な身体の変化</li> <li>退行性変化の観察 ・子宮復古の阻害因子</li> </ol>	講義
2回	<ol style="list-style-type: none"> <li>進行性変化</li> <li>乳房の観察・ケア</li> <li>母乳育児</li> </ol>	講義
3回	<ol style="list-style-type: none"> <li>育児の知識と技術の獲得に向けた看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 児の栄養</li> <li>2) 児の清潔</li> <li>3) 児の健康管理</li> <li>4) 安全</li> </ol> </li> </ol>	講義

回数	主 題	履修形態 他
4回	1. 褥婦の心理・社会的変化 被災者褥婦の心理と援助 2. 家族の心理的变化 3. 家族関係再構築へ向けた看護 4. バースレビュー	講義
5回	1. 産褥期の健康問題と看護 帝王切開術 子宮復古不全 産褥熱 乳腺炎 産後精神障害	講義

<b>単位認定の方法</b>	1. 母性臨床看護論Ⅱの中の、産褥期の看護10時間である。他に新生児期の看護8時間、看護技術12時間を合わせた30時間の中で24時間以上の出席があることとする。 2. 母性臨床看護論Ⅱ(産褥期の看護30点、新生児期の看護30点、看護技術40点)は100点満点で、60点以上を合格とし単位認定とする。
<b>受講上のアドバイス</b>	産褥の経過を理解し必要な看護を考える。産褥経過・育児環境等は様々で個別な看護が必要であるが、まずは基礎的知識を持ち次に対象にとって必要な看護について考えられるように学びを深化させていく。